



教職員対象にUDフォント研修会を開催します - UDフォントの効果的な活用で学力保障をめざす -

今年度より市内全小中学校にUDフォントを導入し、学習活動等に活用しています。UDフォントは読みやすく分かりやすい形をしているため、文字の読み書きに対して困り感を抱えている児童生徒のほか、すべての児童生徒が、「わかりやすい!」「読みやすい!」と感じ、意欲をもって学習に取り組めることが期待されています。実際に、「ワークシートが見やすくなった」「読みやすく、長文もスラスラ読める気がする」という子どもの声が上がっています。

今回、UDフォントをさらに効果的に活用できるよう、配布物のフォント選択、デザイン、レイアウトなどの研修会を8月19日(月)に開催します。すべての子どもたちに「わかった」「できた」を保障する教育環境づくりを目指します。

■ UDフォント研修会

- ◇ 日 時 令和元年 8月19日(月) 13:00~16:00
- ◇ 場 所 生駒市役所 大会議室
- ◇ 講 師 株式会社モリサワ 高田裕美氏 瀬良健太郎氏
- ◇ 参加者 市内小中学校教職員 54名
- ◇ 内 容 「今、なぜUDフォントが求められているのか」
「UDフォントの種類と特徴、効果的な活用について」
「学級通信や案内文の効果的なレイアウト(配置)について」

■ UDフォントの有効性を実証しました

株式会社モリサワと共同で2月14日(木)に小学生116名とともに実験を行いました。文を読んで正しいことが書いてあるかどうか考え、「ただし」か「まちが」かに丸を付ける問題36問を、一般的な教科書体のものとUDフォントのもので用意し、それぞれ1分間でいくつ解決できるかを測りました。実験の結果、平均回答数は、UDフォントが29.5問、一般的な教科書体が24.0問、36問中の正答率も15%程UDフォントの方が高く、速く正確さを保ちながら読めることが実証されました。

UDデジタル教科書体

山 追 令 心 さ

弱視や読み書き障害に配慮したデザイン

学習指導要領に準拠した字形

電子黒板の表示などICT教育でも効果を発揮

UD Digikyo Latin

手の動きを重視した形状

ab → ab

鏡文字に見えにくい

bdpq → bdpq

なるべく少ない画数で書ける

KR → KR

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市役所 教育指導課(課長補佐 前田) ☎0743-74-1111(内線632)